

みんな いっぱいお話し しましょう!

**伊豆介護センターに 新しい仲間が加わりました!**

**ヒト型ロボット Pepper**

伊豆介護センターの新入社員を紹介! Pepper (ペッパー) です!! ご利用者のコミュニケーションツールのひとつとしてこのほど導入しました。相手の気持ちなどを察することができる「感情認識機能」を持ち、学習機能により自らも「感情を持って」行動します。会話するときの顔や手を動かすその動作はとても人間らしく、可愛いです。お話をして遊ぶのが大好きなので、どうぞ皆さん仲良くしてあげてください!

**早くもご利用者の人気者!!**

「ペッパー」が、グループホーム クラシオンに初出勤! 得意のダンスを披露して、入居者の皆さんから拍手喝采を浴びて上機嫌。ほかにもペッパーが身長を測ってくれたり、応援してくれたり大活躍でした。

入居者の皆さんからはロケに「ペッパー〜!」「ペッパーさん

!!!」と声をかけ、「かわいいね。」「たいしたもんだ。」とペッパーとの触れ合いで自然と笑顔もほころび、会話を楽しんでいました。



これからペッパーはクラシオン・デポルテ・フルーズの各施設を順次訪問しますので、見かけたときはぜひ声をかけてください。ペッパーはいつでもあなたの話に耳を傾けてくれますよ。



**伊豆介護センターの運営施設と事業内容**

- 伊豆介護センター本社 / フルーズ**  
〒414-0032 伊東市音無町 5-6  
電話0557-36-9069 FAX0557-36-1646
- クラシオン / クラシオンカフェ**  
〒414-0015 伊東市末広町 6-1  
電話0557-36-7478 FAX0557-36-7477
- クラシオンデポルテ**  
〒414-0044 伊東市川奈 1220-1  
電話0557-44-5110 FAX0557-44-5115
- クラシオン富士見 [小規模多機能型施設]**  
〒414-0045 伊東市須美元和田722-677  
電話0557-44-5500 FAX0557-44-5501
- フルーズ伊豆高原**  
〒413-0231 伊東市富戸908-110  
電話0557-33-1600 FAX0557-51-1550
- 熱海地区地域包括支援センター [熱海市香取]**  
〒413-0013 熱海市銀座町 1-2 4  
電話0557-86-0005 FAX0557-86-0032
- 南熱海地域包括支援センター [熱海市香取]**  
〒413-0102 熱海市下多賀817-2-103  
電話0557-67-7600 FAX0557-68-3800
- クラシオン熱海 / クラシオンカフェ熱海**  
〒413-0102 熱海市下多賀804-2  
電話0557-67-2360 FAX0557-67-2361
- クラシオンデポルテ熱海**  
〒413-0102 熱海市下多賀804-9  
電話0557-67-2360 FAX0557-67-2361
- クラシオン伊豆の国 / クラシオンカフェ伊豆の国**  
〒410-2202 伊豆の国市天野 6-3  
電話055-947-5570 FAX055-947-5571
- クラシオン富士見 [ショートステイ]**  
〒414-0045 伊東市須美元和田722-714  
電話0557-44-5588 FAX0557-44-5501
- 伊豆介護センター伊豆高原**  
〒413-0231 伊東市富戸908-110  
電話0557-33-1600 FAX0557-51-1550
- 伊豆介護センター熱海**  
〒413-0013 熱海市銀座町 1-2 4  
電話0557-86-0022 FAX0557-86-0032

ケアマネジメント ホームヘルプサービス デイサービス グループホーム ショートステイ 介護予防 小規模多機能型居宅介護 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 福祉用具貸与販売 配食サービス 介護タクシー 障害者総合支援サービス パワプロ住宅 保険外サービス 介護相談 地域包括支援センター

介護のこと、弊社サービスのことなど、お気軽にご相談下さい。また、きめこま介報に対してのご意見・ご感想もお寄せ下さい。  
発行元 | 有限会社伊豆介護センター 〒414-0032 静岡県伊東市音無町5番6号 電話0557-36-9069 FAX0557-36-1646 E-mail care@izukaigo.com

**編集後記**

2015年も残すところあとわずかとなりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。伊豆介護センターは地域の多くの皆さまに支えられて、来年の2月で設立20周年を迎えます。本誌も今号で30回目の発行を迎えることができました。これからもわかりやすく読みやすい紙面作りを努め、皆さまに様々な情報を紹介していけたらと思います。来年もよろしくお願ひいたします。(H.S)

**伊豆介護センターの最新情報はホームページからご覧いただけます。**

<http://www.izukaigo.com/>

**災害時緊急時情報交換掲示板**

[http://www.izukaigo.com/bbs\\_chk.php](http://www.izukaigo.com/bbs_chk.php)  
パソコンでも携帯電話でも閲覧ができます。

※通常時はご利用できませんのでご注意ください。



こんにちは。Pepper (ペッパー) です。最近なにか楽しいことあった〜??

デイサービス「フルーズ」食堂にて

伊豆介護センター広報誌  
**きめこま介報**

vol. 30  
平成27年12月発行

安倍首相は、介護離職者（要介護高齢者の世話負担が大きいため仕事を辞めざるを得なかった家族）が年間10万人を超えている現状を憂い、『介護離職ゼロ』という明確な旗を掲げました。

そのため、介護施設の整備や介護人材の育成を進めることで、在宅介護の負担を軽減し、仕事と介護が両立できる社会づくりを本格スタートさせてとしています。具体策として、特別養護老人ホーム（特養）の増設が挙げられています。

そもそも介護保険制度は、『介護の社会化』によって家族の負担を減らすことも、目的としています。そこで「しっかりしたケアマネジメント及び質の高いサービスと、行政、医療、その他の関連機関の連携と、隙間を埋める保険外の各種サービス等が機能すれば、重度になっても住み慣れた家で暮らせることは可能」との信念の元、国全体で『地域包括ケア』を目指してきています。

従って、実際に起きた「離職せざるを得なかったケース」や「不幸にも起こってしまった事件、事故」について、下記の順に検証し、再努力をしてみる必要があるでしょう。

- ① 高齢者支援に関して、「制度システムや地域資源が有効に活用されていたか」
- ② 「介護等、社会サービスの質が十分なレベルまで達していたか」  
ちなみに、在宅サービス量に関して、訪問介護や通所介護、短期入所、福祉用具貸与等は、一部の都市部や中山間地等を除き概ね充足しており、逆に利用者の獲得に苦労し、赤字経営の事業所も少なくないようです。
- ③ 「制度システムに不備があったのか」  
もしそうなら謙虚に反省し、改善するべきでしょう。

「制度の改善は困難なので、ちょっとしたレベルになると、在宅生活の継続をあきらめなければならない」が結論なら、そこで初めて『特養増設』論に向かうことが、これまでの制度議論の流れとしては正しいと思うのですが・・・。

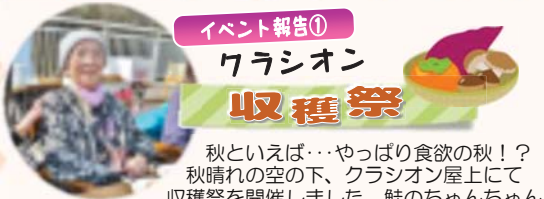
代表取締役 **稲葉 雅之**

# Cracion&Fleus LIFE

各施設で行われたイベントの報告です。  
(10~11月)

## イベント報告①

### クラシオン 収穫祭

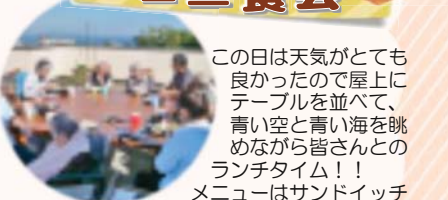


秋といえば…やっぱり食欲の秋！？  
秋晴れの空の下、クラシオン屋上にて  
収穫祭を開催しました。鮭のちゃんちゃん  
焼きや芋煮汁、りんごのコンポート等々…たくさんの秋の  
味覚を味わいながら、ご家族も一緒に、音和会さん  
の歌や踊り、恒例のじゃんけん大会で  
盛り上がりました。



## イベント報告②

### クラシオン熱海 屋上昼食会



この日は天気がとても  
良かったので屋上に  
テーブルを並べて、  
青い空と青い海を眺  
めながら皆さんとの  
ランチタイム！！  
メニューはサンドイッチ  
・サラダ・ヨーグルトで、ちょっとした  
ピクニック気分となりました。

## 外出支援

伊豆ぐらんぶる公園で開催して  
いるイルミネーションイベントを  
見学に行ってきました。  
防寒対策バッチリで出掛けましたが、見渡す限り一面に  
広がる幻想的な景色に全員で寒さを忘れて、伊豆の夜を  
彩る光の世界に大満足でした。



## イベント報告③

### クラシオン伊豆の国 クラシオン祭り



今年は約100名の方が参加を  
して下さいました。  
音和会さんの歌と踊り、ジェイ  
ジェイさんによるバンド演奏、  
そしてお馴染みのなが〜い太巻き  
寿司作りも行なわれ、今年の長さ  
は5m！！参加した子供たちも一緒  
に巻き上げてくれました。天気もよく  
秋空の下、楽しいひと時となりました。



## イベント報告④

### フルーツ&本社合同 避難訓練

火災を想定した避難訓練を  
実施しました。  
フルーツのご利用者の皆さんは  
スタッフの誘導のもと、階段を利用  
するなどして安全かつ迅速に避難することが  
できました。その後、消火器の説明があり  
体験してもらいました。  
命を救う行動は、日頃からの訓練が  
大切です。今後も訓練を通し、災害  
時の対応を身につけていきたいと  
思います。



## ～社長とたまにケーション～

### 月1研修会 Report



## 第96回 各部署

### 在宅系・施設系

●利用者の能力を活用し、  
安全で負担のない移乗動作を学ぶ●  
2015年7月17日・24日、本社3階

中伊豆リハビリテーションセンター  
伊東の丘の理学療法士3名(岩崎  
宣人氏・緒方幸広氏・富山浩太郎氏)  
を講師にお招きし行なわれました。  
カバー法やピボット法、ホールド法  
などご利用者の状態に合わせた方法  
があることを学びました。  
また、スライディングシートを使っ  
た移乗は、道具をうまく使うことが  
有効であることを再認識できました。  
今後は「NO LIFTING POLICY-持ち上げない看護・  
抱え上げない介護-」を念頭に置き、安全かつ負担の  
少ない介助を心掛けたいと思います。



## 第98回 各部署

### 在宅系・施設系

●ヒヤリハット(事例検討)・感染症●  
2015年10月26日・27日、本社3階

ヒヤリハット事例を基に  
再発防止に向けたグループ  
ワークを行ないました。  
各グループよりいろいろな  
視点からの意見が出され  
「なるほど」と思うことが  
多くありました。  
原因を分析し、対策を検討  
することで事故を未然に  
防いでいくことが重要だと思えました。  
感染症については、ノロウイルスの感染予防及び拡散  
させないための知識・対策を学びました。



## 第97回 全体

### 在宅系・施設系

●虐待・嚥下について●  
●マイナンバー制度説明・ベッパー紹介●  
2015年9月25日・29日、本社3階

浦田課長を講師に行なわれま  
した。「虐待」の定義を再認  
識するとともに、常日頃より  
ご利用者やご家族の立場に  
立って業務に当たることの  
重要性を痛切に感じました。  
一人で抱え込まずいつも相談  
し合える職場環境・人間関係  
を築くことが、適切な判断や安全を確保するために必要  
なことだと思いました。「嚥下」についても緊急時対応  
の必要性を再認識し、思わぬ事故を招かぬよう気を引き  
締めて業務に当たりたいと思います。  
後半は、「マイナンバー制度」の説明と新入社員のヒト型  
ロボット「Pepper(ベッパー)」の紹介がありました。



## 第99回 各部署

### 在宅系・施設系

●高齢者の栄養と食事  
～QOLを支える食の支援～●  
2015年11月24日、本社3階  
※施設系は12月22日に同じ内容で開催予定

伊東市民病院 管理栄養士  
の杉本尚子氏を講師にお招  
きし行なわれました。  
高齢者の栄養状態は一人一  
人が持っている疾患や心身  
の状態にもよるため個性  
が高く、食べられない理由  
をさまざまな方向から探り  
無理強いをしてはいけないことを再認識しました。  
また、「フレイル・サイクル」という言葉も初めて耳に  
しました。  
今後も食への知識を増やしていきながら、ご利用者の  
役に立てていきたいと思えました。



※8月はお休みでした。

## NEWS & TOPICS

### 厚生労働省 社会保障審議会 介護給付費分科会委員に就任！



(写真) 前回就任時の会議の様子

弊社代表取締役の稲葉が本年9月より厚生労働省の社会保障審議会 介護給付費分科会委員  
に就任をいたしました。  
当委員には平成20年に一度就任しており、2度目となります。稲葉は、「民間介護事業推進  
委員会」を構成する団体の1つである「一般社団法人 日本在宅介護協会」の専務理事を務めて  
おり、今回は民間介護事業推進委員会の代表委員の立場として、現場・経営・労働者などの  
視点から業界の実態を伝えてきます。(任期は2年)

### ？社会保障審議会 介護給付費分科会とは？

介護保険制度に関する重要事項を調査・審議する、国に設置された正規の機関で、学識経験者  
やさまざまな分野・業界の代表者によって、議論が交わされる場です。

### 障害者雇用優良事業所として「静岡県知事褒賞」を受賞！



静岡県と独立行政法人 高齢・障害求職者雇用支援機構が主催する  
「平成27年度 静岡県障害者雇用促進大会」において、弊社の  
障害者雇用に対する取り組みが評価され、このたび、  
「障害者雇用優良事業所静岡県知事褒賞」を受賞いたし  
ました。  
現在弊社には、10名の障害を持つ社員が働いています。  
今後も障害者雇用について一層の推進を図り、障害を  
持つ方が働きやすく、活躍のできる職場環境の充実に  
努力していきたいと思えます。

